



コミュニケーションプラザ



所在地：東京都港区芝浦4-8-33
 対象面積：約150m²
 場所：1階「関電工テクニカルPlaza」内
 設計：(株) 関電工
 施工：(株) 関電工
 竣工：平成21年12月

◀ 関電工本社ビル1階にあるコミュニケーションプラザ

「関電工テクニカルPlaza」内の「コミュニケーションプラザ」にオールLEDの照明が導入されました。8パターンの照明シーン切替えと人感センサの採用により、実用性と省エネ性の両立を実現しました。

省エネと次世代技術が詰まった多目的施設

「コミュニケーションプラザ」は、(株) 関電工本社ビル1階エントランスホールの、窓の外に緑があふれる場所に位置し、多くのお客様や社員・協力会社社員、近隣の住民の皆様がコミュニケーションを図る場として多目的に用いられています。その用途はプレゼンテーション、会議、展示会、各種セミナー、ワークショップなど多岐に展開。透明パネルでシースルーにして普段見ることのできない建築設備を見える化しています。

またスマートグリッドを視野に入れた将来のエネルギーシステムをテーマとしたコンセプトモデルが展示され、隣接のテクニカルプラザと合わせて省エネと次世代に向けた技術を体感・共有できる施設となっています。



照明がオールLED化されたコミュニケーションプラザ (LEDベースライト、LEDダウンライト、LEDスポットライト全点灯時)

省エネ性と実用性を両立したオールLEDの照明空間

照明は全て省エネ・長寿命のLEDを採用。低グレア・高演色の照明器具を用い、人が集う空間において、また大型映像装置を用いた会議やプレゼンテーションシーンにおいて、視環境に優れた設計となっています。照明器具は調光可能形で、人感センサを用いた省エネ制御をはじめ、各用途に応じた8シーン(平均照度約150lx~600lx)を簡単に再生できるなど、省エネでフレキシブルなライティングシーンを実現した照明を設備する施設です。

LEDベース照明には約5~100%の連続調光を可能にした直付スクエアタイプを採用。消費電力56W、器具光束は3,000lm、Ra92と高演色な上、色温度5000K、下面カバーは拡散カバーで作業性に適しています。壁面に沿って設備したLEDダウンライトは0~100%の連続調光可能形。Ra92と高演色で、色温度は2700Kを選定。ベース照明とは対照的に低色温度の壁面をつくることで、交流の場にふさわしい穏やかな雰囲気を生み出しています。素子ごとに反射板を兼ねたグレアカッターを備えた器具で、不快なグレアの抑止効果が高められています。



プロジェクタ上映モード点灯状態



LEDベースライトスクエアタイプ



LEDスポットライト LEDダウンライト



会議・セミナーモードの点灯状態 (LEDベースライトのみ全点灯時)



調光盤

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
屋内	LEDベースライト	LEDT-30402W-LD9	29	LED 消費電力：56W (白色相当)
	LEDダウンライト	LEDD-20004L-LD9	30	LED 消費電力：26W (電球色相当)
	LEDスポットライト	IBP-3351 (W)	24	LED電球ビームランプ形 消費電力：9W